

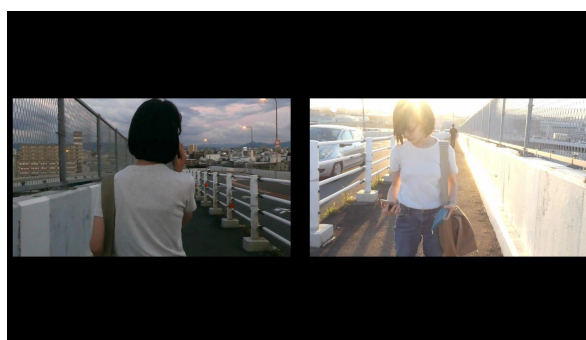
梅田航輝 Kouki Umeda

プロフィール

2001年新潟市生まれ。2025年京都工芸繊維大学デザイン・建築学課程卒業。現在京都工芸繊維大学大学院建築学専攻博士前期課程在籍。建築、映像、美術に関心があり、関連した活動や作品制作を行っています。

サイト（暫定）：umedakouki.github.io メール：uk34926mu@outlook.jp

はしのはなし | 2023年 | 17分 | 担当：脚本・監督・撮影・編集



動画URL：<https://youtu.be/9qdj6QTBnIM>

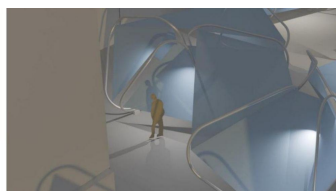
特徴的な形の橋を舞台にした短編映像作品。

すでにあった原案をもとに、橋の形から着想を得た「運命」というテーマで、橋を両端から中央に向かう二人の会話で構成される脚本を作成し、15分長回しの撮影に挑戦した。ロケ地とテーマと手法の融合を考えていた。京都の学生中心のインディーズ映画祭「スポットライト映画祭」第一回にノミネート・上映された。

ふるまいの模型 | 2025年 | 大学の卒業建築設計



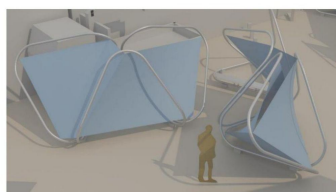
「花屋の前で立ち止まる」の模倣



「家の前でデイスの妻を待つ」の模倣



「八百屋の店主と会話する」の模倣



「書類を抱えて車が通りすぎるのを待つ」の模倣

都市の小さな記憶を共有するための演劇、その仮設劇場の構想。

都市や建築に潜む無意識的な意味を、地域のふるまいと空間の関係から読み解くことを考えた。演劇の模倣性を手がかりに、その地域固有の空間の型を「ふるまいの模型」として抽出し、劇場設計へ展開した。

同年の京都工芸繊維大学卒業制作展にて展示された。

GELEL | 2025年 | 40分 | 担当：画コンテ・美術・撮影等



怪獣と巨人が戦い、防衛隊と駆け引きをする怪獣特撮映画作品。

担当は主に美術で、特に京都駅前の街並みを模したジオラマや、それを支える土台等の設計・制作を行った。そのためにはカメラに映る範囲やカメラとの距離、着ぐるみ怪獣の配置等が重要になるため、画コンテや演出の計画と並行して作業した。大規模な美術は初めてなので計画しきれないことが多く、都度判断を要した。

京都工芸繊維大学学祭での展示、コミュニティスペース「5.6」、イベント「kougei noel」、「全国自主怪獣映画選手権 特撮のまち・須賀川大会」にて上映された。自主怪獣映画選手権では田口清隆賞を受賞した。

そのほかの作品（映像）

コーラフロート | 2022年 | 31分 | 担当：画コンテ・助監督・編集等

動画URL：<https://youtu.be/CrKS8RMipkg>

春休みに出会った男女の恋、そしてすれ違いの物語を描いた映画。

映像的断片 1 | 2022年 | 4分 | 個人制作

動画URL：https://youtu.be/W3zKE_MQJ4c

モノやストーリーを意図的に崩壊させた実験的な映像作品。

映像的断片 2 | 2023年 | 18分 | 個人制作

動画URL：<https://youtu.be/OgXepcbFBTM>

生成AIを利用して抽象的な光を生成し繋げた実験的な映像作品。